

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	蹴球部報 : 部報
Author(s)	
Citation	龍南, 2 2 6 : 1 4 2 - 1 4 2
Issue date	1933-11-05
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/7168
Right	



部 報

蹴 球 部 報

蹴 球 部 一 同

秋櫻散る東光原に、懐しくも土にまみれ、汗にまみれ、
駆けづり廻る私達蹴球部員！ 傳統と四つになつて力の業
を競ふ私達！

イレヴンは、一つのホイッスルに同体の如く動く。各々
その持場を死守して動く！

異常な緊張ぶりを見せて、私達は只管來春一月東京のイ
ンターハイに備へる。

部員若き私達は、はちきれる意氣が第一の頼み、技はそ
の二！

去月二十三・四の兩日には、佐賀に恒例の三高（七高・佐
高五高）リーグ開かれ、私達は四年の連勝を掴む。四度び
武夫原を謳ふ。よきかな！ 幸先よし！ いざ！

私達は、今後の猛練習、更によりをかけて、輝く新春を
迎へんとす。前途多端、血と涙とに育まれ行かんとする私
達の心意氣。思ひ出の一頁だ！

請ふ。龍南一千、熱ある御聲援を！ 御同情ある御聲援
を！

陸 上 競 技 部 部

佐 々 木 記

夏七月二十二・三日京都帝大グラウンドに於て第九回全
國高校陸上競技會開催、全國高校三十二、五百名の精鋭を